

「議会のあり方」検討協議会第8回第2部会 協議概要

- 1 日 時 平成 24 年 8 月 1 日（水）午後 1 時 30 分～午後 3 時 54 分
  - 2 会 場 議会棟 3階 第2委員会室
  - 3 出席者 （委員）布施部会長、湯浅副部会長  
川村委員、段木委員、酒井委員、佐々木(友)委員  
小田委員  
（事務局）事務局長及び事務局次長 他 6 人
  - 4 傍聴者 （議員）なし  
（一般）3人
  - 5 協議事項及び協議結果  
協議の前に、部会長より、山田議員が協議会と部会の委員を湯浅議員と交代した旨の報告があり、あらためて副部会長の選任について諮った結果、湯浅委員が副部会長に就任することが決定した。
    - （1）第7回部会における協議概要等について  
資料を配付し、了承を得た。
    - （2）「市民参加の推進に関すること」について  
部会長案について、部会長からの説明の後、各委員から意見聴取を行った。  
協議の結果、「議会広報の充実について」の各具体案については広報委員会での協議に委ねること、議会のIT化については、これを活用するという  
ことを議論したことに留め、「議会報告会等の開催」について議論していく  
こととし、意見交換を行った。  
今回は、議会報告会に関する他都市の事例を持ち寄り、引き続き協議を  
行うこととした。
- （主な意見）
- ・議会報告会は、市民とのキャッチボールが行われる機会を増やすという  
意味で、非常に有意義ではないか。
  - ・区委員会は、本来的に必要なものかどうか、やるべきかどうかを一回議  
論した方がいいのではないか。

- ・議会報告会と意見交換会は、議会が主催で行う必要はない。議員として動けばいいのではないか。
- ・市民により身近に感じてもらえるような企画ということで、夜間・休日の本会議や議会報告会などが挙げられているのではないか。試しに1回行ってみて、本来の我々がいう市民参加が進められないのであれば、別の方策を考えるくらいでいいのでは。
- ・今の千葉市が区の単位で見ていった方がいいのか、大きな目で見ると議会として必要ではないのか、というところはもっと議論すべきではないか。
- ・区委員会や議会報告会は、何か回答を出していくものではない。フラットな議会としての立場として、話を聞きに行く。その意味で、最低限のルールを提示したうえで行わなければいけないのではないか。
- ・審議過程がどうであったのかが、市民の一番関心ある部分であると思われる。議会としてどのような対応をしたのかが問われてくるのではないか。
- ・議会報告会は、報告に行った場で、しっかりと市民から意見を頂戴する場ではないか。議会に言うとか何か変わるかもしれないという雰囲気を出すことで、時間はかかるだろうが、最終的には投票率も上がっていくのではないか。
- ・議会を身近に感じてもらった後、政策立案過程にどう市民に関わってもらっていくかが一番大事ではないか。
- ・市民とのキャッチボールで得られた課題を議会が取り上げて実現していく、その過程の見える化をするために議会報告会を行い、意見交換を行う。その循環が必要ではないか。
- ・採決が終わり、決まったものに対して議員が市民の前で意見を言うことはどうなのか。
- ・決まったものであるからこそ、市民に責任をもって議決の内容等を示すことは必要ではないか。
- ・意見をもらう機会としては、会派や議員が努力すべきことではないか。

### (3) 今後の開催日程について

次回の部会は、9月4日（火）午後3時から開催することとした。